

2024年ユース審判員研修会 実施報告書

実施日 2024年4月28日(日)

【実演】A1・A2

試合 10:00 別海高校 VS 中標津高校 (審判:根室高校)
(各30分) 10:35 別海高校 VS 根室高校 (審判:中標津高校)
11:10 中標津高校 VS 根室高校 (審判:別海高校)
11:45 中標津高校 VS 別海高校 (審判:根室高校)
12:20 根室高校 VS 別海高校 (審判:中標津高校)
12:55 根室高校 VS 中標津高校 (審判:別海高校)

場所 別海高校グラウンド

講師 村山S I 1、越河S I 2、茂木S I 2、水澤S I 3

内容 3校が参加した練習試合を活用し、当該チーム以外の高校生がA1・A2の実践を行った。参加者からは、「オフサイドポジションの選手と、ボール保持者を同一視野で確認するのが難しい」等の、感想があった。

【座学】

講師 村山S I 1

内容 『審判員として大事なこと』
『ハンドの解釈』
『北海道出身の審判員からのメッセージ』
・日本サッカー協会理事 大岩真由美氏
・国際主審 木村博之氏
・国際副審 手代木直美氏
・1級審判員 宗像 瞭氏、板矢智志氏

時間 14時~15時

場所 別海高校2F(農業会計室)

参加人数 別海高校(17)名、中標津高校(13)名、根室高校(13)名 合計(43)名

『審判員として大事なこと』

①ミスを恐れない、②自分に自信を持つ・自分の眼を信じる(第一印象)、③事実を把握(事象を掴む)、
④4人のチーム、⑤協議規則の理解と解釈、⑥判定に根拠を持つ。
特に、「事実」は一つしかないが、「真実」は人の数だけ存在するため、⑥判定に根拠を持つことが重要。

『ハンドの解釈』

ハンドを正確に解釈している競技者や指導者は少なく、競技規則の理解度が低い。実際の動画を共有しながら、あらためてハンドに焦点を当てて講義を行った。

『北海道出身の審判員からのメッセージ』

世界や全国各地で活躍する北海道出身の現役審判員から、根室地区ユース審判員へ向けたメッセージをいただいた。

研修会開催にあたり、さまざまな協力をいただいた皆様に感謝と御礼を込めて講演会の報告といたします。

また、この研修を単年度で終わらせることなく今後も継続することで、少しでも多くのユース審判員輩出に取り組んでいければと考えております。

【報告者】NFA審判委員会 委員長 茂木 直矢

【活動の写真】

